

大幸薬品、宮崎県西都市に「衛生管理製品」寄贈を決定 二酸化塩素を噴霧する『クレベリン スプレー』を市から畜産農家へ配布

大幸薬品株式会社（本社：大阪府吹田市内本町三丁目34番14号、代表取締役社長：柴田 仁、以下 大幸薬品）は2010年5月下旬二酸化塩素を噴霧できる衛生管理製品『クレベリン スプレー』1,500本を口蹄疫（こうていえき）の被害地域である宮崎県西都市（橋田 和実市長）に寄贈いたします。

西都市ではこの『クレベリン スプレー』の寄贈を受け、市内の畜産農家約300世帯を対象に家庭内でのウイルス・菌除去を目的に順次配布を開始する予定です。

このたび寄贈する運びとなった『クレベリン スプレー』は、対象物に噴きかけることで、二酸化塩素分子の働きによりウイルス・菌・ニオイを除去することができる衛生管理製品です。

なお、今回の『クレベリン スプレー』の寄贈は、西都市から要望があったもので、感染管理事業に携わる一企業として被害で苦しむ方々にお見舞いを申し上げるとともに、現地での衛生管理に少しでもお役にたてればとの思いから実現に至ったものです。

記

■衛生管理製品寄贈の概要

- ・寄贈製品：衛生管理製品『クレベリン スプレー（300ml）』
 - ・本数：1,500本
 - ・寄贈先：宮崎県西都市
- ※納入後、西都市により、順次市内畜産農家を対象に配布予定

【製品画像】



クレベリン スプレー(300ml)

以上